

「コラボ」のお酒

Watching Collaborated Items

チャーオ、シーナです。●日本ではMANGA（マンガ、今や世界共通語です）のキャラクターをパッケージに使った食品・飲料をよく見かけますね。「中身よりマンガ」の商品もあります。●「子供向けの食品・飲料」にマンガ（アニメ）ラベルがあるのは世界共通ですが、「大人向けのお酒」でマンガラベルがあるのは日本独特。いまや日本文化ですね。●「自社ブランド」に「他者のブランド力・技術力・販売力」を掛け合わせ、かつ、「パートナーの名前を明示」したものがコラボレーション商品（短縮して「コラボ商品」）。今回は色々な形態の「コラボ」のお酒を集め、そのコラボ・パートナーで分類してみました。（pictures = Sienna K. Emiri）

お酒業界コラボ



アカデミック・コラボ



アート・コラボ



その他さまざまコラボ



MANGA（マンガ）コラボ

アウトドア
&セレクトショップコラボ

有名人コラボ



シーナの私的考察

「コラボレーション」の意味を調べると、「自分と異なる立場の組織や人との共同作業、およびその成果物」とありました。版権の対価を支払って人気のマンガ・キャラクターのラベルの商品をつくることは、共同作業とは言いいくつかもかもしれません。本来は、新技術・新商品の開発など「付加価値」の創造がコラボの一番の趣旨だと思いますが、販促、地域貢献、アーティスト支援などのビジネス手法として幅広く捉えられているのも事実ですね。「付加価値コラボ」と「販促コラボ」に分けると、お酒の場合は「販促」目的が大多数のようです。一方、「付加価値」目的のもの（原酒交換や大学の技術利用など）は少数派ですが、今後注目されるお酒のコラボでしょう。「組み合わせの意外性」、「業界を超えた共同開発」、あるいは「今まで考えられなかった業界内協業」は、日本のお酒に新しい付加価値を生み出すと思います。（text = Sienna K. Emiri）